

(編入学)

平成30年度 入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 国際園芸農学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

2016年の農林水産物・食品の輸出額は7,502億円となり、4年連続で過去最高額を更新している。農林水産物の成長産業化を図るためには、人口増加や経済成長により、今後の拡大が見込まれる海外の食関連市場の獲得に向けて、農林水産物・食品の輸出、日本食等の食文化の海外展開を進めることが必要であるといわれています。

そこで、最近の日本産農林水産物・食品輸出の動向をみると、表1～2で示したとおりです。この資料で示された内容を参考に、現在の日本における農林水産物・食品輸出の特徴をまとめ、海外の食関連市場の獲得に向けて、日本の農業はどのような点を強化することが必要であるのか、自らの考えを織り交ぜながら述べなさい（800字以内）。

表1 日本産農林水産物・食品輸出額の推移

著作権の関係上、省略します。

資料：農林水産省食品産業局輸出促進課『農林水産物・食品の輸出実績（品目別）』各年版から作成

表2 日本産農林水産物・食品輸出の主要相手国・地域の推移

著作権の関係上、省略します。

資料：農林水産省食品産業局輸出促進課『農林水産物・食品の輸出実績（国・地域別）』各年版から作成